

新国立競技場整備事業 事業者決定！ ①

①
新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・
隈研吾建築都市設計事務所共同企業体作成



ナショナルトレーニングセンター 山下泰裕氏がセンター長に就任 ②

地域から世界へはばたけ！ ナショナルタレント発掘・育成（NTID）合同トライアル

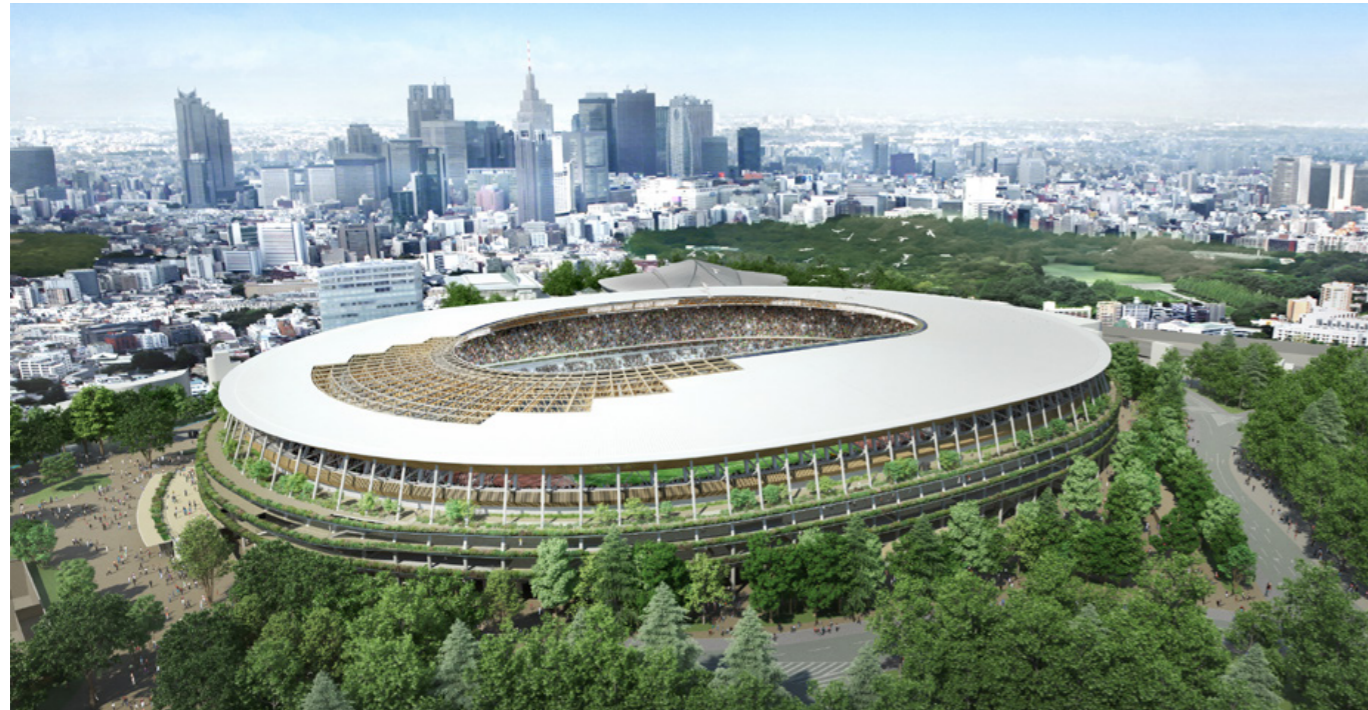
サクラセブンズ リオデジャネイロオリンピック出場権獲得！ ③

“MEMORIAL GOODS DESIGN AWARD 2015” 審査結果発表

平成27年度 第13回主要スタジアム情報交換会

宮城県で秩父宮記念スポーツ博物館巡回展を開催

新国立競技場整備事業 事業者 決定!



新国立競技場の整備事業については、「新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議」で決定された「新国立競技場の整備計画」に基づき、2015年9月1日(火)から公募を開始しておりました。その後、同年11月16日(月)に技術提案書の提出を締め切り、審査などの選定プロセスを経て、12月22日(火)に優先交渉権者(事業者)を「新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体」に決定しました。

南東より鳥瞰イメージ
(競技大会後30年の姿)
新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体作成

選定のプロセス

今回の公募に対しては、A者「新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体」とB者「新国立競技場整備事業 伊東・日本・竹中・清水・大林共同企業体」の二者から技術提案がありました。この二案の審査について、「新国立競技場の整備計画」を踏まえ、技術提案等審査委員会で決定された審査基準に沿った評価を行うため、8回の審査委員会と13回の専門的内容に関する検討会を開催。専門的知見を有する委員の方々の間で議論が重ねられ、347項目に及び技術的事項の確認を行うなど綿密な審査が行われてきました。その結果、7名の委員それぞれが審査項目ごとに採点を行い、合計は、A者610点、B者602点となりました。

また、技術的事項の確認を終えた後に技術提案書を公表

し、JSCとしてアスリート・競技団体などの意見交換会を行うとともに、国民の方々からもホームページでご意見をいただくなど、公正且つ開かれた選定プロセスを心掛けて進めてまいりました。

このような審査委員会での審査結果、アスリート・競技団体・国民の方々からのご意見なども踏まえてJSC理事長

の大東和美が判断し、関係閣僚会議に報告、そこでの了承を経て、優先交渉権者を選定しました。

審査委員会の審査講評において、「いずれも施設の目的、その内容を示した『要求水準』をよく理解した上で、設計・施工を一貫して行う方式の特徴を十分に発揮した意欲的な提案」、「限られた期間の中で、これほど高いレベルの提案をまとめた二者の設計・施工の技術力やその提案力を高く

評価するとともに、その熱意に多大なる敬意を払う」とあるように、二つの応募案ともに高く評価された素晴らしいものでした。



優先交渉権者選定結果に関する記者会見

これからの予定

2016年1月29日(金)に新国立競技場整備事業(第I期)の契約を締結し、現在、基本設計及び施工技術検討などを進めています。今後の予定としては、本年11月までに実施

設計まで完了し、12月には新営工事着工、そして、2019年11月に完成予定となっています。

完成までのスケジュール(予定)

年度	2015年度			2016年度												2017年度							2019年度					2020年度									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
設計				基本設計・実施設計																																	
工事																																					

この新国立競技場ですべてのアスリートが最高の力を発揮し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が成功するとともに、その後もレガシーとして後世の人々に長く愛され、活用されるスタジアムとなるよう、今後、設計・

施工を進めていく段階においても、関係団体をはじめ、様々な方々からご意見を伺いながら、広く、開かれた整備プロセスを心掛けて本事業を推進してまいりますので、引き続き、ご支援を賜りますようお願いいたします。



スタジアム内観イメージ 新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体作成



南側外観イメージ
(競技大会後30年の姿)
新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体作成

山下泰裕氏がセンター長に就任

2016年1月1日、ナショナルトレーニングセンター(NTC)のセンター長に、柔道金メダリストで、公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)理事の山下泰裕(やましたやすひろ)氏が就任しました。また、副センター長にはJOC常務理事福井烈(ふくいつよし)氏とJSCスポーツ開発事業推進部長の勝田隆(かつたたくし)氏が就任しました。

山下氏は、1984年ロサンゼルス大会の柔道無差別級の金メダリストであり、現在は、JOC理事・選手強化副本部長、全日本柔道連盟の副会長、国際柔道連盟の理事等様々な要職を務めています。また、2016年リオ大会では日本選手団の副団長にも就任しています。

福井氏は、JOCの情報・医・科学専門部会委員、NTC委員会委員長を歴任し、現在は、JOC理事・選手強化副本部長や日本テニス協会の常務理事等を務めています。

また、勝田氏はJOCの選手強化本部常任委員、情報・医・科学専門部会副会長を歴任し、現在はJSCのスポーツ開発事業推進部長として、新たなプログラム開発や支援方策の企画・立案等に関する職務を行っています。

2015年12月25日、文部科学省記者会見室で鈴木大

地スポーツ庁長官も同席する中、会見を行い、山下センター長は「スポーツ界の力を結集し、国民の期待に応えられるような成果を出せる環境をつくっていききたい」と述べました。また、大東和美JSC理事長からは「競技の実績、人柄、能力も含め適任と考えた」と山下センター長を選んだ理由の説明がなされました。

2016年1月8日には、西が丘地区の職員を前に、山下センター長が挨拶し、「ナショナルトレーニングセンターを利用する選手達が、自分の能力を最大限に高め、人間的にも成長していける場となるよう、センター長として全力を尽くして行きたい」と熱く語りました。

JSCは、2016年リオ大会や2018年平昌大会、そして2020年東京大会、さらには2020年以降に向けて、JOCや日本パラリンピック委員会(JPC)を始めとする関係機関とともに、国立スポーツ科学センター(JISS)及びNTCを有している西が丘地区にある機能をこれまで以上に連携させるなどして、競技力向上機能を強化し、「ハイパフォーマンスセンター」を構築することにより、我が国の国際競技力の向上へのさらなる支援を行います。



<左から>勝田NTC副センター長、鈴木スポーツ庁長官、大東JSC理事長、山下NTCセンター長、福井NTC副センター長

ナショナルタレント発掘・育成(NTID)合同トライアル

～地域に眠る逸材を探す～



スポーツ開発事業推進部では、全国規模で特に有能なアスリートを見出し、アスリートの適性に合った競技や中央競技団体(NF)へのパスウェイ(メダリストへの道筋)を構築することを目的にナショナルタレント発掘・育成(National Talent Identification & Development、NTID)プログラムを実施しています。

合同トライアルはNTIDプログラムの1つで、過去の競技成績を問わず体力に秀でたアスリートを新たな競技に引き合わせる機会と場を提供しています。今年度は、東京(国立スポーツ科学センター)での開催に加え、東北と九州において広域(ブロック)のタレント発掘・育成コンソーシアムなどを活用し、三友エンジニア体育文化センター(山形県上山市)及びKIRISHIMAツワブキ武道館(宮崎県宮崎市)で合同トライアルを2015年10月、11月に実施しました。

16歳から39歳の男女を対象に公募を行い、書類選考

を通過した105名が参加しました。参加者は、パワー・スピード系の能力を測る30メートル走や持久力を測る20メートルシャトルランなどの全ての競技に共通する体力測定の数値を日本代表選手や世界のトップ選手の値と比較するほか、オリンピック競技大会への意気込みや夢を発表する審査にも挑みました。今年度は、新たな人材の発掘に興味を持つ、11のNF強化関係者が「未来のメダリスト」をスカウトしようと目を光らせていました。本プログラムを通して、NFから有望者として認められれば、より専門的な測定やNFの育成プログラムに参加する等、2020年東京オリンピック及びそれ以降を見据えた取り組みに進んでいきます。

これらのプログラムを開発した背景には、日本の子どもたちが取り組むスポーツが主要な競技に偏っているうえ、自身の体格や能力を最大限に活かすことができる最適なスポーツに転向する機会や環境が限られているという現状があります。JSCでは、今回のプログラムで得られた知見を活かし、地域やNFと連携し、これからも有望な人材の発掘・育成に取り組んでいきます。



女子
7人制ラグビー
アジア予選 第2戦
東京大会

サクラセブンズ リオデジャネイロオリンピック 出場権獲得!



©JRFU

2015年11月28日(土)・29日(日)、「女子7人制ラグビーアジア予選 第2戦 東京大会」が秩父宮ラグビー場で行われ、サクラセブンズは第1戦の香港大会に続いて優勝を飾り、予選2大会を制覇。見事に2016年リオデジャネイロオリンピックへの出場権を獲得しました。

この大会は、2日間にわたって6チーム総当りのプール戦後、その成績に応じて最終順位決定戦「5位対6位」、「3位対4位」、「1位対2位」を行い、1位が6

ポイント、2位が5ポイント、順次1点減点、最下位は1ポイントのランキングポイントが与えられ、2大会の総合優勝チームが2016年リオデジャネイロオリンピックの出場権を獲得するというフォーマットでした。

日本は11月7日(土)・8日(日)に行われた第1戦の香港大会で優勝していたとはいえ、2位カザフスタンとの差はわずかに1ポイントだったため、プール戦で取りこぼしてしまえば出場権を獲得できない可能性は十分にありました。



©JRFU



©JRFU

▶1日目
大事な初戦は香港大会で5-12で敗れた中国との一戦。前半を10-0で折り返し、後半に1トライを返されたものの、20-7の快勝でリベンジを果たし、幸先のいいスタートを切りました。2戦目は、香港大会で53-0と大勝したグアムから7トライを奪い39-0で勝利を収めました。1日目最後の香港戦では27-5でしっかりと勝ちきり、3戦3勝で初日を終わりました。

▶2日目
初戦の対戦相手はスリランカ。香港大会で大勝した相手にトライを一方向的に重ね、49-0で勝利。プール戦最終戦の相手は日本同様ここまで4戦4勝のカザフスタン。この時点で日本は決勝進出を決めており、香港大会でカザフスタンに2勝していたため、この試合に勝つか引き分けで予選総合1位が確定する状況でしたが、前半終了間際のトライで先制したものの、カザフスタンの気迫のこもったプレーに5-7で逆転負けを喫しました。

カザフスタンに敗れたことでプール戦終了時点での出場権獲得とはなりませんでしたが、香港大会決勝の大差での勝利により、仮に決勝戦で敗れても大差でなければリオ行きを決められる有利な状況でした。

決勝戦では前半3分に先制し、7-0で前半を折り返したものの、後半開始早々に同点とされて嫌なムードが漂いましたが、プール戦の時とは明らかに違う落ち着いた試合運びを見せた日本は後半7分にトライ&ゴールを奪って14-7でカザフスタンを振り切り、見事2016年リオデジャネイロオリンピックの出場権を獲得しました。

この歴史的瞬間を見届けようと、2日間で8,000人を超える観客が詰めかけ、熱い声援が送られていました。

2016年リオデジャネイロオリンピックから正式競技となった7人制ラグビーは本格的な強化が始まったばかりですが、オリンピックに出場することによって注目度や競技人口が増え、その先の2020年東京オリンピックでは、さらに選手層の厚くなった日本チームが活躍してくれることでしょう。



©JRFU

SAYONARA 国立競技場 FOR THE FUTURE “MEMORIAL GOODS DESIGN AWARD 2015”

JSC賞 (グランプリ)

作品：LITTLE-KOKURITSU
作者：小牧博之氏
●コンセプト

「国立」の風景で思い浮かぶのは観客とアスリートと美しい芝のピッチ。それだけでは欠かせない要素である。これからもその思いは受け継がれていく。この作品は、「国立」のイメージとともに、これからも熱いアスリートの魂を見届けるための装置である。芝のテーブルにビールを置き、スタンド椅子に座り、モニターの前で熱くなりたい。



●受賞者のコメント

「国立」の歴史、デザイナーとしての考察、いちスポーツファンとしての思いをメモリアルグッズとしてカタチに残せる機会をいただき、非常に嬉しく、光栄に思っております。



「LITTLE-KOKURITSU」

審査結果発表

国立競技場の「スタンドの椅子」を活用して実施した「SAYONARA 国立競技場FOR THE FUTURE “MEMORIAL GOODS DESIGN AWARD 2015”」(エントリー期間2015年2月14日～2015年5月23日)受賞者が決定しました!

ぴあ賞

作品：オリンポスノヒカリ
作者：米子工業高等専門学校 建築学科 西川研究室 (代表 西川賢治氏、学生:足羽由香里氏、若林咲氏、中村佳世氏、平野颯太氏)
●コンセプト

旧国立競技場がオリンポスの光(聖火の光)で満たされた1964年の記憶や、我が国のスポーツ文化育みの中心地であったという輝かしい歴史を現代に受け継ぎ、我々の未来を過去から力強く照らし続ける大切な遺産。そんな特別なオブジェクトとなるよう照明装置として再生させた作品です。



「オリンポスノヒカリ」

西川研究室のみなさん



平成27年度 第13回主要スタジアム情報交換会

～エコパスタジアムにて開催～ 開催日：2016年1月21日（木）～22日（金）

国立競技場では、国内主要スタジアムにおけるより良いグラウンドコンディションの維持や施設の管理運営の方策を探り、スポーツターフの普及・発展並びにスポーツ振興に寄与することを目的とし、主要スタジアム情報交換会を年1回開催しています。

第13回を迎えた今回は静岡県小笠山総合運動公園エコパのエコパスタジアムで開催し、40施設、総勢131名の方にご参加いただきました。



<情報交換会の様子>

タイムスケジュール 1月21日（木）*1日目

時間	プログラム	
13:00	開会式	【開会挨拶】 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立競技場長 齋藤 孝博
13:15	スペシャルトーク	【テーマ】「ラグビーワールドカップの魅力について」 ラグビーワールドカップ2019アンバサダー ラグビー元日本代表 増保 輝則 氏 <聞き手> SBS静岡放送パーソナリティ 澤木 久雄 氏
14:30 ～17:00	第1分科会 (スポーツターフ部門)	【事例発表1】「日照制限を受けるスタジアムでの芝生管理実績」トヨタ緑産(株) 澤木 剛生 氏 【事例発表2】「日本平スタジアムのPS6000によるピッチ分析」 (有)グリーンマスターズ清水 代表取締役 佐野 忍 氏 (株)アコーディア・ゴルフ 技術開発部 安井 芳彦 氏
14:30 ～17:00	第2分科会 (管理運営部門)	【事例発表】「エコパスタジアムの運営について事例を交えた発表」エコパハウス 営業企画課長 澤木 千秋 氏 「広報活動についての取組み」エコパハウス 営業企画課主任 天野 竜太 氏 国立競技場 他

増保氏によるスペシャルトーク



増保 輝則 氏

ラグビーワールドカップ2019アンバサダー。早稲田大学卒業後、神戸製鋼へ入社。日本代表として3度RWCに出場。現役引退後は神戸製鋼監督、女子7人制ラグビーチーム「ラグガール7」代表を務める。

スペシャルトーク 「ラグビーワールドカップの魅力について」

「ラグビーワールドカップの魅力について」と題し、元ラグビー日本代表で、現在はラグビーワールドカップ(RWC)2019アンバサダーとしてRWC2019日本大会を盛り上げるべく、普及活動に取り組まれている増保氏、聞き手役にSBS静岡放送パーソナリティで、ラグビーの実況やスタジアムアナウンサーも勤める澤木氏をお迎えして、スペシャルトークを行いました。

増保氏から、ラグビーの魅力はもちろんのこと、プレースタイル、選手がプレーしやすい芝生の刈高やラグビーフィーバーを巻き起こしたRWC2015での日本代表の活躍の秘訣や試合会場の環境作りまで、ご自身の経験を交えて様々なお話をいただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

1月22日（金）*2日目

時間	プログラム	会場
9:00 ～10:00	施設見学	エコパスタジアム
11:00 ～12:00		ヤマハスタジアム

第1分科会（スポーツターフ部門）～静岡県のスタジアム管理事例～

第1分科会では、静岡県でのスタジアムの芝生管理についての事例発表を行いました。エコパスタジアムの管理を担当しているトヨタ緑産(株)の澤木氏からは、日照制限を受けるスタジアム環境下での管理方法について事例発表を行っていただきました。竣工時から寒地型芝草を採用していましたが、2014年の全面改修により、暖地型芝草(ティフトン419)に寒地型芝草を播種する、ウィンターオーバーシーディング方式に草種変更し管理を行っている中で、日照制限下での暖地型芝草の成長不良や、切り替えるタイミングなどが課題となり、今後はそれ



<第1分科会の事例発表>

エコパスタジアムの事例発表に熱心に耳を傾ける参加者

らを改善していきたいとご説明いただきました。

次に、(有)グリーンマスターズ清水の佐野氏と、(株)アコーディア・ゴルフの安井氏にIAIスタジアム日本平の事例発表を行っていただきました。IAIスタジアム日本平で行った、専用の測定機器を用いたピッチ分析の様子をご紹介いただきました。GPSと連動してピッチ上の約1100～1500ポイントの水分・塩分・固結・芝生の活力を測定し、総合的に評価するもので、ピッチの状況を細かく分析できるため、今後管理していく上で有効活用できるとご説明いただきました。

また、事例発表の他にもハイブリッドターフなどについての質問もあがり、各スタジアム関係者から今後の新たな芝生管理方法の模索についても議論がなされました。

第2分科会（管理運営部門）

～エコパスタジアムの事例発表と広報活動について～

第2分科会では、エコパスタジアムの運営について、静岡県サッカー協会グループエコパハウスの澤木氏に事例発表を行っていただきました。エコパスタジアムでは、コンサート、サッカー、ラグビー、陸上競技、企画イベントなど使い方が多岐にわたるため、対応力が問われるとのことでした。

また、自主事業や地元の学校行事も積極的に開催しており、大規模イベントだけでなく、施設や周辺環境の特徴を活かし、地域住民の方々にも幅広く使用してもらえるよう努力しているとのことでした。

次に広報活動について、同じくエコパハウスの天野氏に発表いただきました。エコパスタジアムでは、多くの方々に幅広く使用していただけるよう、様々な形でPRを行っており、ホームページだけでなく、自治体とも協力して情報発信を行っているとのことでした。



<第2分科会>

各施設からも意見が飛び交う

質疑応答では、自主事業や広報活動に悩んでいる各施設から意見が飛び交い、非常に有意義な分科会となりました。

施設見学

施設見学では、エコパスタジアム並びにヤマハスタジアムを見学しました。エコパスタジアムの見学時はウレタン走路修復工事を行っており、貴重な現場を見ることができました。また、ピッチでは日照の良い部分と悪い部分をコア抜きして根の張り具合を比較展示していただき、参加者

ピッチ見学では特別に芝生の根の様子も見せていただいた

は貴重な展示に興味深く観察していました。

ヤマハスタジアムは、エコパスタジアムと違い球技専用スタジアムであり、観客席とピッチが非常に近く、臨場感あふれるスタジアムでした。スタジアムの屋内にカフェバーを設置するなど、お客様へのおもてなしを重要視して運営されていました。

<エコパスタジアムのピッチにて>
芝生管理の説明を聞く参加者



<ヤマハスタジアムの見学>
VIP席からはピッチが非常に見やすい

おわりに

今回開催したエコパスタジアムは、2002 FIFAワールドカップや国体など大規模大会を経験しており、RWC2019日本大会でも開催会場に選ばれています。そのような大きなスタジアムで、様々な事例を伺ったことは、参加者にとって非常に有意義な情報交換会となりました。また、これまではサッカー中心の情報交換会でしたが、今回は「ラグビー」をキーワードにして開催し、RWC2019日本大会に向けて、全国のスタジアムが一丸となってスクラムを組む体制を整えるための非常に良い機会となりました。このような国際大会が2019年に日本各地で開催されるにあたり、今後もさらに具体的な情報交換をしていき、開催会場の施設・管理運営の充実はもちろんのこと、全国のスタジアムが開催会場を参考にして、ますますのスポーツ施設の充実と向上に繋がることを期待しています。



宮城県で 秩父宮記念スポーツ博物館巡回展を開催

秩父宮記念スポーツ博物館・図書館



オープニングセレモニー会場

『国立競技場』Vol.607(2015年11月号)でもお知らせしましたが、今年度、秩父宮記念スポーツ博物館は、文化庁の補助事業「平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択され、スポーツミュージアム連携・啓発事業を行っています。

本事業の1つである「秩父宮記念スポーツ博物館巡回展—2020年東京オリンピック・パラリンピックがやってくる—」と題した当館の巡回展は、当館が所蔵するスポーツ資料を通じて、地域の人々に日本のオリンピック・パラリンピックのレガシーを伝えると共に、日本のスポーツ文化の醸成に貢献することを目的としています。

昨年9月～10月に国体に合わせて開催された和歌山県に続き、2回目となる今回の巡回展は、宮城県多賀城市の東北歴史博物館で1月23日(土)～3月13日(日)に開催されています。

今号では、1月23日(土)に行われたオープニングセレモニーの様子と、巡回展の見どころなどをお伝えします。



展示会場入口

- 会場**：東北歴史博物館 特別展示室
住所：〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
開催期間：2016年1月23日(土)～3月13日(日)
開館時間：9:30～17:00(観覧券の発行は16:30まで)
休館日：毎週月曜日
入場料：常設展示の観覧券が必要
 大人400円(20名以上の団体は320円)
 高校生以下無料
体験企画：2月13日(土) 10:00～12:00、
 13:00～15:30 東北歴史博物館
 中央ロビー(入場無料)
 「スケルトン・車いすバスケ疑似体験！」
講演会：2月11日(木祝) 13:30～15:00
 東北歴史博物館 3F講堂(入場無料)
 千田健一氏(宮城県フェンシング協会理事)
 「私のフェンシング人生」
 3月5日(土) 13:30～15:00
 東北歴史博物館 3F講堂(入場無料)
 鈴木省三氏(仙台大学教授、1984年
 サラエボオリンピック日本代表)
 「氷上のF1・ボブスレーで世界へ！
 ～スポーツ・オリンピックの価値～」

宮城会場の東北歴史博物館特別展示室は、前回の和歌山会場の2倍の広さとなっており、宮城県とゆかりのあるアスリートの品など宮城会場限定で展示される資料を含め、約200点のスポーツ資料を公開しています。

和歌山会場でも好評だった真っ赤なブレザー(デレゲーションユニフォーム)や聖火トーチ、メダル、ポスター、着物など国民の関心が高い1964年オリンピック東京大会の資料を中心に、日本人が初めてオリンピックに参加した1912年ストックホルム大会から、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに至るまでの歴史を豊富な資料で紹介しています。

また、これまであまり公開をしてこなかった当館所蔵



テープカット



友情のメダル

の「友情のメダル」を始め、JSCから石巻市に貸し出



人気のフィギュアスケート

されている旧国立競技場の聖火台の原寸大レプリカ、宮城県とゆかりのあるアスリートの品として、フィギュアスケートの羽生結弦選手や荒川静香選手の競技コスチューム、ラグビーワールドカップ2015で活躍した日本代表の畠山健介選手のユニフォームなど、見どころの多い展示となっています。

1月23日(土)のオープニングセレモニーでは、朝9時という早い時間にもかかわらず、多くの方にご参加いただきました。続けて行



旧国立競技場のレガシー



千田健一氏講演会



1964年東京オリンピック聖火トーチ他

われた学芸員による展示解説も非常に好評であり、特に仙台市出身の羽生結弦選手の2014年ソチ大会ショートプログラム「パリの散歩道」で着用した青のコスチュームや、荒川静香選手が2006年トリノ大会で着用したコスチュームと金メダルなどが人気を集めていました。

宮城会場での巡回展は3月13日(日)で終了しますが、平成28年度も国内での巡回展を予定しておりますので、次回の開催日程が決まるまで、しばらくお待ちください。

※本記事は2016年3月1日時点の内容になります。



ラグビーワールドカップ2015



宮城県ゆかりのアスリートコーナー



スケルトン、車いすバスケ競技用車いす乗車体験

2016
3~5月

SCHEDULE

代々木第一体育館

就職セミナー	キャリアタス就活フォーラム (土木、建築系学生対象) (3/1)
就職セミナー	キャリアタス就活フォーラム (IT業界、機械、電気・電子、情報系学生対象) (3/2)
就職セミナー	キャリアタス就活フォーラム (女子学生対象 Women's Forum) (3/3)
コンサート	LAWSON presents Sphere Fes.2016 (3/5,6)
就職セミナー	Super Business Forum (3/8)
フットサル	第21回全日本フットサル選手権大会 (3/11-13)
ファッションショー	第22回 東京ガールズコレクション by girlswalker.com 2016 SPRING/SUMMER (3/19)
コンサート	TOKYO GIRLS MUSIC FES. 2016 (3/20)
コンサート	musicるTV × BREAK OUT presents LOVE BOX 2016 (3/21)
コンサート	SHINee WORLD 2016 ~D×D×D~ (3/24-26)
バスケット	東日本大震災復興支援 JX-ENEOS 第47回全国ミニバスケットボール大会 (3/28-30)
体操	第70回全日本体操競技選手権大会 (4/1-3)
就職セミナー	シンデレラフェスvol.3 (4/5)
コンサート	布袋寅泰 35th ANNIVERSARY [8 BEATのシルエット] [BEAT 2] ~GUITARHYTHM伝説'88~ ソロデビュー再現GIGS (4/7)
ファッションショー	GirlsAward 2016 SPRING/SUMMER (4/9)
フィギュアスケート	木下グループpresents STARS ON ICE JAPAN TOUR 2016 (4/15-17)
コンサート	Welcome to Sexy Zone (4/23,24)
コンサート	2PM ARENA TOUR 2016 "GALAXY OF 2PM" (4/29-5/1)
体操	第55回NHK杯体操 (5/4,5)
コンサート	Ken Hirai 20th Anniversary Special !! Live Tour 2016 (5/7,8)
コンサート	THE YELLOW MONKEY SUPER JAPAN TOUR 2016 (5/11,12)
チャリディング	第10回アジア インターナショナルオープン/ 第3回アジアン ジュニア (5/14,15)
コンサート	2PM ARENA TOUR 2016 "GALAXY OF 2PM" (5/20-22)
コンサート	E-girls LIVE TOUR 2016 ~E.G.SMILE~ (5/25,26)

代々木第二体育館

格闘技	K-1 WORLD GP 2016 (3/4)
格闘技	第27回全日本テコンドー選手権大会 (3/5,6)
バスケット	NBL2015-2016 (3/19,20)
演劇	ヤングアメリカンズジャパンツアー10周年スペシャルワークショップ「Just the Beginning」 (3/22,23)
バスケット	NBL2015-2016 (3/25,26)
バスケット	東日本大震災復興支援 JX-ENEOS 第47回全国ミニバスケットボール大会 (3/28-30)
空手	第5回GLOBAL POINT & K.O. 国際空手道選手権大会 (4/2)
バスケット	NBL2015-2016 (4/16,17)
格闘技	K-1 WORLD GP 2016 (4/24)
バスケット	NBL2015-2016 (4/30)
レスリング	「明治杯」全日本選抜レスリング選手権大会 (5/27-29)

秩父宮ラグビー場

スーパーラグビー 2016シーズン	
ラグビー	サンウルブズ vs レベルズ (3/19)
ラグビー	サンウルブズ vs ジャガーズ (4/23)
ラグビー	サンウルブズ vs フォース (5/7)

味の素フィールド西が丘

サッカー	JFAグラスルーツフェスティバル2015 in 東京 (3/13)
サッカー	第26回2016国際親善ユースサッカー イギョラカップ (3/21)
明治安田生命J3リーグ	
サッカー	第2節 FC東京U-23 vs FC琉球 (3/20)
サッカー	第4節 FC東京U-23 vs カターレ富山 (4/10)
サッカー	第7節 FC東京U-23 vs 栃木SC (5/1)
プレナスなでしこリーグ1部	
サッカー	第1節 日テレ・ベレーザ vs 浦和レッズレディース (3/27)
プレナスなでしこリーグ2部	
サッカー	第10節 スフィーダ世田谷FC vs 愛媛FCレディース (5/22)
関東大学サッカーリーグ戦 (前期)	
サッカー	開幕戦 (4/2)
サッカー	(4/9)、(4/17)、(5/7)、(5/21)、(5/28)
日本フットボールリーグ	
サッカー	第14節 ソニー仙台FC vs Honda FC (5/29)

スケジュールは変更になる場合がありますので、ウェブサイト等で必ずご確認ください。

<http://www.jpnsport.go.jp>

科学会議ストリーミング配信のお知らせ

「スポーツ科学 次へのステップ ~リオ五輪、そしてその先へ~」

2015年12月10日に実施した、第12回 JISSスポーツ科学会議「スポーツ科学 次へのステップ ~リオ五輪、そしてその先へ~」の抄録や映像を、ウェブサイトで公開予定です。乞うご期待！
<http://www.jpnsport.go.jp/jiss/tabid/1169/Default.aspx>



国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171) 秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881)
味の素フィールド西が丘 (国立スポーツ科学センター) (☎ 03-5963-0203)

【編集後記】

国立代々木競技場第一・第二体育館では、スポーツ大会やコンサートなどの恒例行事だけではなく、ヘアカットショーや就活応援イベントなどの新しいジャンルの行事も増えています。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、オリンピックでハンドボール、パラリンピックでバドミントンとウィルチェアーラグビーの会場に決まり、みなさんからの注目がより高まっているのを感じています。そんな代々木競技場では、まだまだ行事が盛りだくさん。これからも様々な行事を通して、代々木競技場の雰囲気や出来事をお伝えしていきたいと思っています。また、ぜひご来場ください。お待ちしております！(K)

国立競技場 第608号

2016年3月1日発行

●編集・発行

独立行政法人日本スポーツ振興センター 広報室

〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35

tel 03-5410-9121

●編集協力 株式会社ジャニス

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。